

法学委員会 「市民性」涵養のための法学教育システム構築分科会
(第24期・第2回) 議事要旨

日時 2018年5月28日(金) 15時30分～18時00分

会場 日本学術会議5-C(1) 会議室

出席者 糠塚康江 三成美保 愛敬浩二 浅倉むつ子 稲正樹 小澤隆一 棚澤能生
小森田秋夫 谷口洋幸 松本尚子 三阪佳弘 (以上、会場参加)
三成賢次 吉田容子 田中教雄 (以上、スカイプ参加)
吉田俊弘 (大正大学教授・参考人)

欠席者 小林傳司 秋野成人 川嶋四郎 中里見博 二宮周平 長谷河亜希子
平山真理 南野佳代

議事

1 三成委員長より渡邊弘鹿児島大学准教授が特任連携会員として本分科会に参加するとの報告があった。

2 吉田俊弘氏(大正大学教授・参考人)から「新科目『公共』と法教育」と題して、資料に基づき報告が行われた。報告は、①高等学校学習指導要領改訂の全体的な特徴と新科目「公共」に関わる改訂の特徴、②新科目「公共」の目標・内容・教育原理、③初中等教育における憲法教育の実際とその定着度、④初中等教育における私法・社会法教育の実際とその定着度という構成で行われ、最後に今後の課題が示された。

3 愛敬浩二氏から「新設科目『公共』について——高校教科書『現代社会』執筆経験を踏まえて」と題して、資料に基づき報告が行われた。報告は、①報告者自身の社会科教育への関わりと実践、②新設科目「公共」についての問題点ないし危惧の紹介、③新設科目「公共」に対応する場合の課題の提示、という構成で行われた。

2及び3の報告を通じて、新科目「公共」の目的・内容の問題点、それに対応する場合の課題が、質疑応答を通じて共有された。とくに、かつて「現代社会」科目において教育現場の実践を通じて、指導要領レベルでの危惧や問題点を克服した経験が両報告者によって強調されたことが重要であろう。新科目「公共」に対応する場合も、「公共」=国家による独占といった像ではない、複眼的で重層的な「公共」像を主体的に生徒が創造しうるような科目として、学術会議が積極的・先取的に内容の提言、具体的な素材の提供をしていくことの必要性が確認された。

4 今後の予定

- ①次回は、渡邊弘委員に新科目「公共」と法教育について、川嶋四郎委員に消費者、私的紛争解決の面からの法教育のあり方について報告いただくこととした。
- ②新科目「公共」については、秋にシンポジウムを開催する方向で準備を進めることとした。その際には同じく新科目「歴史総合」との連関とのなかで内容を検討していくこととした。
- ③次会分科会は、7月末か8月に開催することとした。

以上